



協体さわふじ

「藤沢市体育協会広報」第14号

発行日 平成2年3月31日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市遠藤3172秋葉台文化体育館内



私と卓球

藤沢スポーツ賞
4回連続受賞優秀選手
橘川美紀

私が卓球を始める大きなきっかけとなったのは、十一歳の時、名古屋で開催された全国大会に姉が出席し、家族で応援に行ったことでした。それ以来、卓球の魅力に取りつかれ、中学時代から現在に至るまで卓球中心の生活が続くことになりました。

卓球は他のスポーツと比べ派手さはあまりありませんが、実際にやってみると見た目よりも動きは激しく、しかも反射神経が必要とされ、多様な回転を生み出す頭と身体を使うメタナルなスポーツです。

中学時代は、ボールを打つことが楽しく、無我夢中で三年間が過ぎました。

楽しさもつかの間、高校での卓球生活は厳しさとチームワークを徹底的に学び、卓球はもとより人間としてもこの時期に大きく成長したのではないかと思っております。

そして短大へ進み卓球の難しさに何度も壁にぶち当たり我慢を覚えるこ

とが出来ました。

現在は社会人として、学生時代に

学んできた教訓を基盤とし、更に自分に対して厳しさを追求しています。

私のようにチャンピオンスポーツを目指している人は、厳しくつらい練習に耐え、自分自身に打ち勝ち、試合にその成果が発揮できるように毎日鍛錬をこなしてはなりません。

卓球に限らず運動競技には怪我がつきもので、練習や試合が出来ない時が何よりも辛いことです。

またスポーツの世界は、勝ち負けがはっきり現れ、ある面では非常に厳しく、またその反面、妥協の入る余地がないため自分自身に対して納得出来る面もあります。

しかし、全てが納得出来ると言う訳でもなく、悩み苦しむ時もしばしばあります。

その苦しさも練習の成果が出、試合に勝った時の喜びは、その人にしかわからない喜びと充実感があると思います。

また、これと違いレクリエーションスポーツは、人と人との交流を深める場として最適であり、健康の維持増進のためにも、とても良いことだと思います。

私自身にとって卓球人生は、多くの人との出会いと素晴らしい指導者とのめぐり会い、そして良きチームメイトに支えられたお陰で今日の私があると思っております。

そして、高校時代から寮生活を経験したことにより、礼儀と感謝の気持ちを学び、何よりも家から離れた生活だったので、両親や家族のありがたさを知ることが出来ました。

今後はこのようなことを常に頭の中におき、日本リーグ、全日本選手権大会の優勝を目指し、更には91年に千葉県幕張で開催される世界選手権出場を当面の目標とし、練習に励んで行きたいと思えます。

今回は名誉ある藤沢スポーツ賞をいただき、誠にありがとうございます。

これからも努力を重ね、更に高い目標を目指して頑張っていきたいと思えます。



種目協会の横顔



藤沢市空手道連盟

藤沢の街に空手道場が見うけられるようになったのは、戦後間もない昭和25年の秋でした。青少年達にとっては、食糧もやっと出回り始めた敗戦のあとの癒えない落ちつかない空虚な毎日でした。当時沖繩出身の空手道師範とめぐり合う機会を得た故高山年正会長が、本町小学校の講堂の一部を借りて師範より手ほどきを受けたのが始まりでした。

その頃の空手は、武道色が濃く、流派独特な個性の強いそれは壮観な練習風景であったと故高山会長が、常に申しております。そこで翌年藤沢市空手道同好会を結成し、済美館等も借り、特に日大藤沢農獣医学部空手道部員も多数参加して演武会

等様々の年間行事を続けて参りました。

その後、木村英勇氏が昭和38年10月に拳勝館道場を開設し、他にも続々と道場が開設され青少年達の空手道に対する熱が高まってきました。

それとスポーツ振興の普及により、空手道も又老若男女を問わず健全な精神と体力を養うスポーツの一環として、国内においては勿論広く海外にまでも静かなブームを巻き起こす時代となって参りました。

戦後ともすれば日本人の中で忘れ去られていた「礼と節」「先輩を敬う」の精神を特に青少年達に養って参りました。そして私達は共通の目的に向って各道場がお互いに交流を保ち、團結して昭和44年に当時藤沢にお住いの佐々木珀龍先生の労もあって各道場の師範が一堂に集し、藤沢市空手道連盟を結成しました。

初代会長に伊沢十郎氏が就任藤沢市体育協会にも加盟し毎年の恒例行事を的確に重ね今日に至っております。

空手道も年々スポーツ化し、明るいイメージで学校教育にも取り入れられ、素晴らしい選手がどんどん輩出され横浜、川崎に負けることなく県为中心的な立場で頑張っております。特に木村しのぶ、木村久乃姉妹の5年連続県大会優勝など女子の活躍が目立っています。昭和63年には

オーストラリア国際大会に出場、山口大介選手が中学の部で準優勝、木村久乃選手が一般で三位、木村いおな選手が小学生で三位と、好成績を収めております。

又、エキスポ日本館で空手の演武をし国際親善の役も果たしてまいりました。

最後に市連結成時から今日迄我々を教育的にご指導いただいた故高山会長のご冥福を祈るとともに、教えをしっかりと守り、空手道を通して、青少年の健全なる育成に今後も努力したいと思えます。



郡市対抗駅伝

本市チーム第4位の快挙!

第44回三浦半島県下駅伝競走大会が、郡市対抗の前哨戦として平成2年1月21日に開催された。本市は、A・Bの2チームをエントリーして望んだがAチーム5位、Bチーム10位とあまり奮わなかった。

第44回郡市対抗駅伝競走大会は、前記のとおり不安の中で平成2年2月11日に開催された。当日は終日雨が降り続く悪天候の中で26の都市を代表する選手諸君が熱い戦いを繰り広げた。

その中で本市代表選手は前半、差のない上位の中に位置し我慢強いレース展開で持ちこたえ、とりわけ難関中の8区で斉藤選手が区間賞をとる大健闘で一気に3位に食い込み最終区に継いだ。栄光のゴールでは一人抜かれたものの最後の走者が歯を食いしばって第4位のテープをきった。

これは24回大会以来実に19年ぶりの入賞で、本市にとってはまことに久しぶりに味わう美酒となった。

いずれにせよ監督、選手、付き添い等の関係者に改めて拍手のエールを贈るとともに来年も同様に頑張っ

て欲しいと願いたい。

「選手紹介」
1区齊藤哲也・2区岸正明・3区金子智幸・4区矢島英人・5区時田貴子・6区北岡弘文・7区小菅一・8区齊藤篤孝・9区福島史裕

第5回スポーツ人の集い 開催される

平成二年二月二十七日(土)第5回スポーツ人の集いが、藤沢市民会館小ホールに於て藤沢市教育委員会との共催で、体育協会加盟団体はもとより、各地区社会体育振興協議会藤沢市体育指導委員協議会をはじめとしてレクリエーション協会・賛助会員・その他各スポーツ関係者に加え本年度はスポーツに欠かす事のできないスポーツドクターも参加され、皆様方の御協力により盛大に開催されました。

第一部式典では下記の方々が栄えある藤沢スポーツ賞を受賞され、各々表彰状、記念品を授与されました。
第二部講演会では、東海大学体育学部教授元バレーボール男子全日本チーム監督の齋藤勝氏に、「目標をはっきりつかみどうしたら打ち勝っていくか」スポーツの5つの要素、
1.体力、2.技術戦術、3.精神力、4.

経験、5.チームワークが考えられるという意義ある講話をいただき、400人の聴衆を魅了しました。
その後第3部は会場をレセプション会場に移し、県市議会議員等来賓の方々を交え250名のスポーツ人が一堂に介し、交流を深めながら盛會裡に閉会しました。

藤沢スポーツ賞受賞者の御紹介

功労者

柳川賢 体育協会役員として就任以来指導力を発揮しバレーボール等スポーツ振興にご尽力をいただいております。

藤田正辰

藤沢市陸上競技協会理事に就任以来陸上競技の楽しさや技術向上を教え、普及、振興にあたっております。

高科明

剣道教士7段であり、長年剣道発展のため尽力をつくし数多くの指導者を育てあげています。

優秀選手

厚里里香
橋川美紀

武田薬品湘南工場に所属し、第44回国民体育大会神奈川県代表女子卓球団で優勝

谷澤英彦
石井弘樹

第44回国民体育大会テニス競技少

年の部優勝・谷澤選手は全日本選手権シングルズ優勝

第40回県総体代表

男子・女子バレーボールチーム
県総合体育大会男子は4年、女子は2年連続優勝、昨年にひきつづき男女そろっての総合優勝

第40回県総体サッカー競技の部

藤沢代表チーム

県総合体育大会優勝
相模工業大学付属高校テニス部
全国選抜高校大会・全国高校総体国民体育大会において優勝

奨励賞

藤沢市立六会中学校軟式庭球部
全日本中学軟式庭球大会団体戦の部準優勝
菅原教子

日大藤沢高等学校二年在学、福岡国際女子柔道選手権大会52kg級3位

はじめての会長会

盛況におわる



平成元年度事業初の試みである藤沢市種目競技協会々長会は、藤沢市体育協会と加盟二十一種目協会との横の連絡を密にし、市内各スポーツ界との連携を更に深めるという目的で一月二十七日(土)開催されました。

日頃顔を合わせる機会の少ない人達ではありますが、各協会関係者は勿論のことスポーツ医科学研究会スポーツドクターでいらっしやる鈴木一太先生と松山建宇先生をお招きして、総勢60名の参加を得、和やかに歓談されスポーツ談義に花が咲き、十分に所期の成果を収めることができました。

今後もこのような企画を設けることを確認し合い盛會のうちに無事終了いたしました。



スポーツ人の集い
藤沢市教育委員会・藤沢市体育協会

第41回県総体スキー 幸先のよいスタート



第41回大会県総体は、冬季大会のスキー競技会で幕を開けた。例年のごとく長野県野辺山ハイランドスキー場にて19郡市が参加した。全国的な雪不足の中で初日は雪がちらつき2日目は青空のもとまずまずの天候に恵まれた。

その中で本市代表は少人数にもかかわらず連日の活躍を見せてくれた。得点58の第5位は大健闘であり、個人的に2部門で優勝者が出て花を添えた。

今年には市制50周年を向かえ各種のイベントが予定されている。それらに追随するのではないけれど、せめて6位入賞を果すべく残りの4種目が後に続いて頑張るよう努力したい。

入賞者氏名

- 回 転年Bの部2位 川村剛
- 大回転年Bの部優勝 川村剛
- 大回転成年の部 優勝 三枝修
- 大回転成年の部 2位 久我真
- 距離 離成年の部 3位 吉原輝文

平成元年度賛助会員

平成二年三月三十一日現在の会員の方々の芳名を掲載させていただきます。

(個人会員) (芳名) (順不同・敬称略)

- 中山二郎・大房英一・加藤三雄・藤方富士夫・坂茂茂・山口武・小林英見・滝内一夫・安斎実・倉幸一・山内暉夫・鈴木克敏・藤田慎一・花塚十四年・川崎渉・小林俊輔・関根芳郎・鈴木和夫・荒井勝男・土屋保三・伊東満・中里敏・柴崎鉄雄・久木田善藏・山本幸男・岩崎只子・寺岡武史・根岸勇・鈴木明夫・山本捷雄・関水正文・小川竹次郎・薩美秀夫・藤田敏太郎・瀬川進・原弘之・岩田明・長谷川忠勤・高科明・木村英勇・宮治敏・桑原隆行・石塚妙子・内田重郎・沼上正・中丸初男・勝呂不三夫・林良雄・尾鷲和重・秋元孝行・関根宗四郎・小林重男・杉山保・二階堂信夫・水流栄一・糸井勝平・渡辺英一・吉野久絃・波多野和敬・二

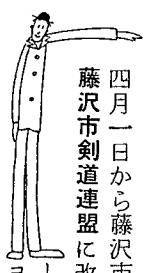
- 榎木幸雄・小川明・桜井浅之・糸井勝治・関水清・石井洋秀・竹内真佐子・佐藤勝夫・橋本篤治・瀬戸邦幸・大島由紀夫・樹居祐三・木島英夫・小島正幹・滝沢茂男・山川彦市・小野孝一・高取節男・鈴木明夫・滝内正敏・大津孝雄・西尾まつ枝・三保谷修二・杉山喜一郎・池田福一・東昭一・小菅定雄・栗原義夫・鈴木得郎・鈴木文治・伊藤喜三郎・小泉勝彦・上管秀雄・工藤孝二・瀬川宗明・端山正美・鹿島昇・小塚勝・山本敏明・野口肇・広田正明・矢部重信・鈴木一郎・渡辺博美・新戸利和・斎藤勝・鈴木善行・桑原勇三・関島威・小菅重矩・石井功・西島一光・清水久雄・番場定孝・関根智治・山口雄司・鈴木恒夫・服部忠幸・小野隆弘・坂本良作・安斎久雄・宮治敬二・西島真吾・鴻野久雄・中尾是雄・中嶋修・唐沢邦之・高橋孝雄・蔵内隆良・金田育・高橋一順・鈴木敏之・杉湖武・遠藤守・木村三男・脇田文雄・宮治政弘・大原晴夫・蝶名林睦・桑原善二・石井皓・橋本幸俊・山田貢・山田勉・梅川光雄・川路久男・井上吉男・藤田正辰・中島哲郎・瀬戸満里子・設楽孝治・藤田佳也・岩淵元・三浦芳郎

(団体会員) (芳名) (順不同・敬称略)

- 藤沢市軟式庭球協会・松下精工(株)硬式テニス部・藤沢市体操協会・プレ

本年度も、本体育協会、賛助会員の趣旨を深くご理解いただき御入会くださいまして誠にありがとうございます。おかげをもちまして個人会員150名団体会員35団体のご加入をいただきました。厚く御礼申し上げます。新年度もひきつづきまして、皆様の御厚意を賜りたく、よろしくお願ひ致します。

四月一日から藤沢市剣道協会が藤沢市剣道連盟に改称いたしました。



ヨロシク!!